



Weekly Report

RI 会長テーマ Engage Rotary Change Lives

クラブ会長テーマ 奉仕を通じて 友情を

第2164回例会

日 時 : 平成25年11月6日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

三田委員

開会点鐘

村上会長

斉 唱 : 国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

四つのテスト

お客様の紹介

村上会長

会長報告

村上会長

●第37回「塞の神どんと焼き」実行委員会開催

日時 11月11日(月) 19時

場所 谷保天満宮

出席 石塚社会奉仕委員長

●創立45周年実行委員会の開催

日時 11月27日(水) 例会後 例会場にて

出席者 各委員会の委員長・副委員長

幹事報告

山崎幹事

●伊東和美会員の姓が佐伯さんに変更になりました。

●今後の予定

11/12(火) IM 於: 立川グランドホテル

受付 15時より 16時開会点鐘

名札はクラブ事務局に必ずお持ち帰り下さい

リーフレットは未着のため当日配布になります

11/13(水) 市民まつりに振替

11/17(日) クリーン多摩川

11/20(水) IMに振替

委員長報告

●遠藤(常)ロータリー財団委員長 R財団月間によせて

R財団は1917年に基金を発足、1928年に国際大会でR財団と命名。財団の使命は「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成することが出来るようにすることである」。具体的にはポリオプラスのプログラムを完遂すること、人道的ニーズを満たす補助金を提供するなどです。より多くの寄付が達成できるように、協力をお願いいたします。

新地区補助金(別紙配布)グローバル補助金を活用して今年はタイへの医療機器を送ります。当クラブは今年一人150ドル寄付をしました。1000ドル達成毎に称号と記念のバッジが与えられます。また今年はベネファクターにお一人お願いしています。

●高世情報委員長 ロータリーの友誌11月号より

ポリオプラスの早期の完了を目指しゲイツ財団からの寄付についても記事になっています。

グローバル補助金・未来の夢計画の説明も掲載されています。寄付をするにあたって、理解して協力することも必要ですので、友誌をお読み下さい。

●石塚社会奉仕委員長 市民まつりの報告と御礼

4日はお天気の悪い中お集まりいただき、有難うございました。ポリオの募金は19,500円集まりましたのでポリオプラス指定寄付に充当いたします。その他経費としてパレード用の横断幕15,750円、その他約5,000円でした。

17日のクリーン多摩川では、拝島橋から国立まで、多摩川べりを歩く会も同時に開催されます。参加できる方は、事前にお申込みください。



R.I. 第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会 長: 村上隆秀 幹 事: 山崎義晴

例 会 日: 毎週水曜日 例 会 場: 谷保天満宮社務所2階 東京都国立市谷保5209 TEL042-576-5123

事 務 所: 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L: http://kunitachi-rc.com/

会 報 委 員: 関 重寿・遠藤直孝・齊藤博人・富田 聡

クラブフォーラム

理事会報告

●指名委員の選出について

12月に開催される年次総会で、次年度の副会長および役員・理事を選出しなければなりません、その候補の指名をする指名委員会のメンバーを発表いたします。(クラブ運営規定第1条②に従う)

村上会長、山崎幹事、岡本正伸会長エレクト、遠藤常臣副幹事、吉野会員・関会員(会長経験者)、小澤谷守会員・木島会員(幹事経験者)、本間会員(5年以上在籍者)、伊藤達弥会員(5年未満在籍者)の10名が指名委員会のメンバーとして承認されました。例会後に第1回目の指名委員会を開催いたします。

●クリーン多摩川について

11/17(日)開催、協賛金5,000円、メイクアップ扱いです。詳細はご案内を配布。

●年忘れ家族例会について

12/19(木)開催、18日の例会振替です。詳細はご案内を配布。

●2013年慶事のお祝いの方々 クラブ慶弔規定に基づく

傘寿(数え80歳) 木島常明会員
喜寿(数え77歳) 吉野利春会員 岡本貞雄会員
古希(数え70歳) 杉田和男会員 関重寿会員
年忘れ家族例会でお祝いをいたします

意見 規定はありますが、数えではなく満年齢でお祝いをするのも、今後検討をしてください。

意見 人生儀礼は昔より数えが現状です。それを我々の都合で変えるのは一考を要するのではないのでしょうか。⇒次年度に向けて検討事項といたします

●新一年生へのランドセルカバーについて

社会奉仕委員長より市役所に確認を行い580枚発注いたしました。

●くにたち文化・スポーツ振興財団より

くにたちアートビエンナーレ実行委員会の設置に伴う委員候補者の推薦依頼について

概要の説明

①ビエンナーレとはイタリア語で2年に1回行う美術展のことを言います。

②今回の計画は財団が主体となり平成25年度から10年間5回にわたり野外彫刻を主体とした作品を全国から公募し、入賞作を市内全域に設置して国立市を文化性の高いアートによるまちづくりを目指そうというもので、国立市の全面的協力もなされることとなっています。

・設置場所は、第1回目は大学通り緑地帯、その後桜通り、矢川・青柳・谷保の順となっています。なお、本格的なモニュメントも駅舎完成の時期に設置する予定

です。

・第1回目は今年12月から3月まで募集を開始し、第一次の書類審査、第二次の模型審査を経て実物の製作にかかり展示および設置は再来年の3月からとなっています。

このような構想のもとで推進のための2つの委員会が設置されることとなり、当クラブには実行委員会への委員推薦の依頼があったものです。

①委員会は「運営委員会」と「実行委員会」に分かれ、運営委員会には昨年の検討委員であった美術専門家も入れたメンバーが諮問機関としてすでに決定されています。

②実際の推進活動は「実行委員会」が行うことになり目下10数団体からの参加者と、公募した市民委員で構成されることになっています。活動内容は多岐にわたり、チームに分かれて行うことになります。

・実行委員は20名程度(うち4名から5名は市民委員)
・事務、実務は文化スポーツ財団が事務局として行うことになっています。

理事会で審議した結果

年度ごとに交代可能であることから、幹事に委員として担当してもらうことになりました。

●くにたち秋の市民まつりの報告

石塚社会奉仕委員長より報告済み

●伊豆大島 台風被害に対する義援金について

10/23の例会で持ち回り理事会を行い、秋廣会員の故郷である伊豆大島に義援金を送ることにしました。募金は任意ですが、クラブの目標を50万円といたしたいと思います。義援金をされた方には領収書が発行されます。担当は幹事です。

●公開卓話について 五十嵐プログラム副委員長

例会を一層充実した場として、今年度初の連続三回の卓話において「地域の歴史 古代～中世を知り考える」をテーマに3名の講師を招き、シリーズでの開催を企画しました。また、このような機会を活用し一般の方々に呼びかけ、ロータリー活動への理解を深め、会員増強の一助になれることを目的とします。

公開日 11月27日・12月11日・1月29日

広報 くにたちの自然と文化を守る会

国立市観光まちづくり協会

(くにたち観光案内)

会員の知人・家族

レジメを制作いたします。会員の皆様にも配布いたしますので、知人・ご家族の方にご紹介ください。



今月の各種お祝い

北島親睦活動副委員長

■入会記念月

稲村 会員 (在籍7年)

■夫人誕生月

秋廣会員夫人・康子様

北島会員夫人・緑様

■会員誕生月

杉田和男 会員 (28日)

内山健治 会員 (24日)

齋藤博人 会員 (1日)

居川純子 会員 (25日)



ニコニコBOX

伊藤(達)親睦活動委員

●村上会長 結婚祝いのワインを有難うございます。会員記念の皆さま、おめでとうございます。

●山崎幹事 結婚記念月のプレゼントありがとうございます。又、市民まつりお疲れ様です。

●杉田会員 今月は結婚・誕生とダブルのお祝いです。ありがとうございます。今後とも宜しくお祈りします。

●内山会員 誕生日の御祝いありがとうございます。

●佐伯和美会員 私、本日より名前が変わり、佐伯姓となりました。夫と共に実家に入ることになったためです。我クラブのイトウ姓の人口が1人減ることになりますね。どうぞ今までと変わらぬ誼をお願い申し上げます。

●稲村会員 結婚記念日、今年も無事に迎える事が出来、只々感謝です。ありがとうございます。



▲11月誕生月の杉田会員・内山会員・居川会員・齋藤会員

●齋藤会員 今年で48才になりました。へび年、さそり座、B型の生まれです。これからもニコニコ頑張ります。

●居川会員 本日は誕生月のお祝いをいただき、ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

●社会奉仕委員会(石塚会員・小川会員・杉田会員・関会員・北島会員・岡田会員・秋山会員) 過日の環境フェスタは台風のため中止となりましたが、市民まつりは何とか開催でき、今年はオープニング・パレードに参加し、東京国立ロータリークラブのPRとポリオ撲滅のための募金活動の実施、市内中学生の「命の大切さ」優秀ポスター展示と地味ではありましたが、社会に貢献するクラブとしてのインパクトはあったものと思います。有難うございました。

ニコニコBOX 合計29,000円 累計508,000円

出席報告

杉田出席委員

11月6日 在籍47名中 出席32名

前々回(10月23日)の出席率97.83%

閉会点鐘

村上会長

くにたち秋の市民まつり

今年の市民まつりは雨模様の中スタート。午前中は何とか雨もち、パレードもなれない行進であちこちに笑顔振りまきチラシ楽しみながら無事終了。この笑顔忘れず例会場にも撒き散らしたら例会の雰囲気も最高なものになるかなと思いました。

パレード終了後は社会奉仕委員会が準備をした「命の大切さ」のポスターの展示とポリオ撲滅募金会場に、物販と違いおとなしい活動のようでした。今年度は45周年事業・ガバナー訪問・環境フェスタ等と、手が回らない中で市民まつりに参加で、このような形での参加となりましたが、いかがでしたでしょうか。終了間近には雨がひどくなり掲示物、掲示板の片づけが大変でした。イベントはやはり晴天が一番ですね。 文：関重寿

11月4日(月・振休) 出席33名



第2165回例会 歩行者天国の大学通り



パレードに参加



クラブの活動展示・ポリオ撲滅の募金の呼びかけ

【命の大切さ】ポスター展の報告

当クラブは、「命の大切さ」「思いやりの心」「友愛の心」などの啓蒙活動に積極的に取り組んでおり、若い世代が自ら行動することが必要であるとの考えから、市内市立第一・第二及び第三中学校の生徒さんに参画していただき、市民総合体育館のホールを借りて10/16～10/30の期間で「命の大切さ」ポスター展を開催いたしました。

開催日である10/16の朝は「ここ10～20年で最強クラス」である台風26号が関東に接近するとのことで、急きょ前日に本間会員にトラックを出していただき、体育館にパネルを設置いたしました。当日の午後からは台風一過で天気も回復し、村上会長・山崎幹事をはじめ多くの会員様にご協力していただき、生徒さんが夏休みの課題として仕上げた作品90点を展示することができました。

どの作品も色使いに工夫が凝らされておりコメントも心に留まるものばかりであり、賞を決めるにも票が分かれておりました。最優秀賞作品は一番ポイントの多かった第二中学校1年の小森一葉さんの作品とし、そのほか優秀賞3作品・佳作14作品を決定いたしました。

最終日の10/30は舟木ガバナーの訪問日でしたが、例会終了後に再び会員様が集まっていたいただき、首尾よく片づけを完了させポスター展を終了させることができました。ご協力いただきました会員様には新世代委員会を代表いたしまして御礼申し上げます。

新世代委員長 寺澤 武



多摩中グループ IM (インターシティミーティング)

11月12日(火) 立川グランドホテル

開会点鐘：金丸清泰ガバナー補佐



記念講演 的川泰宣氏



宇宙とこの星の未来

19世紀以前と異なり、日本は世界に単独で生活することはできない世の中になりました。「愛国」という概念も、「愛星」ともいふべき感じ方と切り離せない気がしています。ということは、かつて日本の役割を考えると地球儀の中で位置を確認しなければならなかったように、現代は人類の未来を考えるのに、この星の宇宙の中で位置を把握することが必須の時代になって来たということだと思います。

講演では、「宇宙」という概念の現在の意味、人間の「宇宙活動」の挑戦の状況と近未来の展望を紹介し、さらに未来を担う世代への期待と彼らへの大人のサポートのあり方について、私見を述べたいと思っています。活動例として「はやぶさ」と私のNPOでの取り組みをお話します。その核心は、「宇宙」が私たちの身の周りに溢れているということ、子どもたちがまさに宇宙のど真ん中で生きているのだということ、人間の行う活動のうちに「宇宙」と無関係なものなどありえないということにあります。

大きな課題を背負っている日本が、これから先頭に立って世界の人々のために貢献していく視野と覚悟を、みなさんと共有したいと願っています。

11月17日(日)



クリーン多摩川くにたち

晴天の中、恒例の「クリーン多摩川」事業が多摩川グランドで行われました。当日は14～15名の会員参加、年々ではありますが意識の向上でしょうかゴミも少なくなってきました。当クラブも例年のグランド西南の緑川の合流地点からグランドの南側あたりまで、ゴミも少なくゴミを収集するビニール袋がゴミになるほうが多いような状態かな。

ゴミも少なくなりましたが多摩川の水も非常にきれいになりびっくりしております。私の子供の頃は多摩川に泳ぎに行きましたが、水質が云々などという時代ではなく濁っており水の中では50センチ先が見えないような時代でした。今考えるとそのような環境でよく泳いだと思います。今は学校にプールもありそういう時代ではなく年の差を感じる今日この頃、竜宮城があったら行きたいな。文：関重寿